

審議された議案と結果 ＊印があるものはピックアップして掲載しています

慎重審議の結果、すべての議案を同意・可決・認定としました。

- 専決処分承認を求めることについて（訴えの提起について）
- 教育委員会委員の任命について（海老澤 敦氏 桜川市大国玉）
- 公平委員会委員の選任について（福島 壽一氏 桜川市犬田）
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について（矢部 喜三郎氏 桜川市大国玉、口町 久氏 桜川市門毛、長塚 直之氏 桜川市真壁町酒寄）
- 桜川市ふるさと応援寄附条例
- 桜川市ふるさと応援基金条例
- 桜川市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例
- 桜川市職員の公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例
- 桜川市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 桜川市障害児就学指導委員会条例の一部を改正する条例
- 桜川市学童保育クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
- 桜川市保健センターの設置及び管理に関する条例
- 桜川市土地開発公社の定款の変更について

平成20年度桜川市補正予算 ＊（P 9）

- ・一般会計（第2号）
- ・国民健康保険特別会計（第2号）
- ・老人保健特別会計（第1号）
- ・農業集落排水事業特別会計（第1号）
- ・公共下水道事業特別会計（第1号）
- ・介護保険特別会計（第1号）

基幹水利施設管理事業に関する事務の委託について

平成19年度桜川市歳入歳出決算認定について ＊（P 2）

- ・一般会計
- ・国民健康保険特別会計
- ・老人保健特別会計
- ・農業集落排水事業特別会計
- ・公共下水道事業特別会計
- ・介護保険特別会計
- ・野外趣味活動施設特別会計
- ・岩瀬水道事業会計
- ・真壁水道事業会計
- ・大和水道事業会計

傍聴においでください

市議会では、市民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議されます。市政を身近に知るためにも、ぜひ議会の傍聴してみませんか。なお、本会議の開催日など、詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

桜川市役所 岩瀬庁舎 議会事務局
TEL 0296-75-3111

●傍聴手続きは簡単です

手続きは簡単です。本会議を傍聴するときは市役所岩瀬分庁舎、第2庁舎3階、傍聴席入口で、氏名、住所、年齢を受付簿に記入するだけです。

●傍聴席は先着順で50席

傍聴席は50席です。先着順となっておりますことをご承ください。団体で傍聴を希望するときは、あらかじめ議会事務局へ御連絡ください。



その他の議案

平成二十年度桜川市一般会計補正予算

給食センターの老朽化

問 給食センター費の中に修繕費が計上されている。施設の老朽化が目立っているが、不具合等は生じていないか。

答 補正により、施設修繕費として北学校給食センターの冷凍用冷凍機の修繕料を計上しました。また、南学校給食センターにおいても施設の老朽化による不具合が生じており、現在整備を検討中です。

多目的複合施設について

問 多目的複合施設完成後の年間維持管理費はどれくらい積算しているか。また、年間利用者総数は、どれくらい見込んでいるのか。

答 年間維持管理費については、現行の各施設より想定し、光熱費や清掃、夜間警備、消防設備管理等の保守点検・管理委託料を含め二〇三六

万円を想定しています。また、完成後の年間利用者数は、図書機能等が充実することにより、年間六万人を想定しています。

問 多目的複合施設の基本設計の外郭がほぼ決定したことだが、この概要については、検討委員会全員の了解を得ているのか。

答 多目的複合施設の基本設計については、議会四常任委員会や市民を対象とした説明会、文教常任委員会概要を説明してきました。検討委員会にはまだ説明をしておりませんので、今後、実施設計が始まる前に審査委員の先生方を交えて検討委員会の皆様にご説明し、実施設計を進めていきたいと考えております。また、資料館の借地料の件については、地権者の承諾を得ており、今年度買収させていただく予定です。

行政視察来庁 … 広島県安芸高田市 …

視察日：平成20年8月7日(木)
来庁議会：広島県安芸高田市議会
目的：デマンド型乗合タクシー

デマンド型乗合タクシーについて意見交換

8月7日に広島県安芸高田市議会総務企画常任委員会の山本三郎委員長ほか10名が行政視察に来庁されました。

当議会からは鈴木好史総務常任委員長、市からは中田市長、渡辺秀夫企画課次長及び企画課担当者が同席し、路線バスの相次ぐ廃止や人口の減少、高齢化社会等を踏まえ、移動制限者の足として、交通空白地帯を解消するとともに、市民の生活交通の充実による地域社会の活性化を図るため「デマンド型乗合タクシー」について視察研修されました。

この研修では、これまで桜川市が取り組んできた事業について、担当課職員より説明があり、地域の実情に即した生活交通の実現に向けて活発な意見交換がされました。

